

平成 2 7 年 1 2 月 2 日

福島県商工会館寄附金による地域活性化活動助成事業 公開報告会の開催について

福島大学地域創造支援センターでは、平成 2 5 年度より一般社団法人福島県商工会館から寄附をいただき、県内各地域において、地域商工業の活性化のための研究・調査活動を実施しております。昨年度に引き続き第 3 回目の公開報告会を開催しますので、取材方よりお願いいたします。また、別紙に各活動の活動内容 P R 及び取材希望日時を記載しておりますので、事業代表者への取材もあわせてお願いいたします。

記

1. 日時 平成 2 7 年 1 2 月 2 1 日（月） 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
2. 場所 コラッセふくしま 3 階企画展示室（福島市三河南町 1-20）
3. 活動報告 ※ 1 件あたり 2 0 分の発表。順番は変更となる可能性もあります。
 - A. 1 5 : 0 5 ~ 1 5 : 2 5 代表者：経済経営学類 則藤孝志特任准教授
「過疎と風評に立ち向かう地域づくり型食農連携ビジョンの構築と実践
—南会津町舘岩地域を食と農でつなぐ—」
 - B. 1 5 : 2 5 ~ 1 5 : 4 5 代表者：経済経営学類 吉田 樹准教授
「温泉地を起点とした「まちあるき観光ツール」のフィージビリティスタディ」
 - C. 1 5 : 4 5 ~ 1 6 : 0 5 代表者：共生システム理工学類 藤本典嗣准教授
「被災地の買い物弱者に対する支援策 —田村市における移動販売の事例—」
 - D. 1 6 : 0 5 ~ 1 6 : 2 5 代表者：人間発達文化学類 小島 彰教授
「アートを活かした温泉まちづくり活動」

報告終了後、ポスターセッション 1 6 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0

【担当窓口】

福島大学地域連携課（齋藤）

T E L : 0 2 4 - 5 4 8 - 8 0 1 2

福島県商工会館寄附金による地域活性化活動助成事業 平成27年度活動一覧

活動名	活動内容PR 及び 取材希望日時	代表者
「過疎と風評に立ち向かう地域づくり型食農連携ビジョンの構築と実践—南会津町館岩地域を食と農でつなぐ—」	昨年度に引き続き、研究加速枠として、旧館岩村地域をモデル地域として、都市と農村の交流づくりや食と農の地域内産業連関の強化などの検討をとおして、地域の人々と共に、食と農で地域をつなぐ食農連携ビジョンの構築をめざす。 *取材は個別に研究室にて対応可能。	経済経営学類 則藤孝志 特任准教授
「温泉地を起点とした『まちあるき観光ツール』のフィージビリティスタディ」	飯坂温泉の「まちあるき支援ツール」として『飯坂今昔散歩』を制作した。GPSロガーを貸与したモニターツアーを実施し、滞在時間や回遊行動を計測するとともに、ツールの効果を計測した。また、会津若松市街地・東山温泉を対象とした「まちあるき支援ツール」として、市内循環バスで酒蔵めぐりを行う『おちょこパス』を企画し、その商品化に向けた調査や作業を行った。 【取材希望日時】12/11(金)12:30~13:00 【活動場所】福島大学経済経営学類棟5F 501 研究室	経済経営学類 吉田 樹 准教授
「被災地の買い物弱者に対する支援策—田村市における移動販売の事例」	田村市の地域創生総合戦略に買い物弱者対策がいかに位置付けられていくか、その過程に学生が聴講として参加すると同時に、買い物弱者対策の解決策の手段として、中心市街地と郊外が相互に交流が増加する仕組みとして、移動販売車の活用と、それに伴う展望や課題点の調査を行った。年明けには、ワークショップも兼ねた、より詳細なアンケートやヒアリングを行う予定である。 【取材希望日時】1/15(金), 16(土), 17(日)に田村市にて現地でのワークショップ開催時に対応可能。それ以外は、個別に、福島大学研究室で対応可能。	共生システム 理工学類 藤本典嗣 准教授
「アートを活かした温泉街まちづくり活動」	「アートを活かした温泉街づくり」事業として、①観光協会・旅館組合・商工会・熱海センター・町内会等で「街づくり推進協議会」の設置。②磐梯熱海温泉のケヤキまつり、萩姫まつり、おもてなし温泉彩、つるりんこ祭の学生によるイベント支援。特に、萩姫では首都圏留学生57人を福大生がサポートした。③アート面では、荒町通りに地元の俳人岸本調和の俳句を展示、また、沼上瀑布・竹之内発電所・旧中山宿スイッチバックの3か所に観光案内板の設置作業を進めている。 【取材希望日時】12/21(月), 22(火), 23(水)9:00~13:00 【活動場所】福島大学人間発達文化学類棟7F 713 研究室	人間発達文化 学類 小島 彰 教授